



7 | 日間

校長 清水 憲雄

梅雨とは名ばかりで、うだるような暑さが続いています。さらに、大気の状態が不安定であり、ゲリラ豪雨に襲われないかと心配していました。テレビに映し出される記録的な豪雨に見舞われた地方の映像を見るたびに、土岐川沿いにある本校も人ごとではないと心を痛めています。

今日で1学期71日間の授業日が終わります。4月当初と比べて、児童一人一人も学級としてもずいぶんと成長しました。1年生は、この4ヶ月ですっかり「小学生(学習者)」になりました。4月入学式直後は、45分の授業を受けることも、給食を食べることもなかなか大変でした。それでも5月・6月と学校生活を送るうちに、45分間を集中できるようになり、自分たちで給食の準備・片付けまでできるようになりました。

6年生は「土岐小の顔」になってきました。修学旅行で、学校外でも仲間と声を掛け合って活動できる姿も素敵でしたが、校内でも最高学年としての動きが顕著になってきました。各委員会では、6年生が中心となって様々な活動に取り組んできました。生活委員会の挨拶運動やロッカー整理、清掃委員会の掃除の質向上の取り組み、なかよし委員会での全校笑顔をいっぱいにした「なかよしフェスティバル」企画等々…。リーダーだけでなく、6年生一人一人が最高学年としての自覚が高まってきました。

6月末から7月にかけて、学校評議員や民生児童委員の方々に、学校を訪問していただきました。今年度大切に指導していることや、子ども達の実情、昨年度学校がいじめとして把握している事案がなかったこと等も報告しました。その後、全学級の授業を参観していただきました。参観後に「一年ごとの成長が、本当によく見えました。一年は大きいですね。」子ども達が、みんなにこやかに、穏やかに授業に向かっていきますね。安心して生活できていると感じました。」というご感想をいただきました。いつも校内にいと当たり前に思っていることも、こうして学校外の方にご覧いただき、教えていただくことで実感できます。もちろん、すべての子ども達が何の不満もなく生活できているわけではありません。また、私たちには見えてはいなくても、友達の言動に心を痛めている子もいるのではないかと心配もしています。



こうした各学年や学級の成長を、表彰状にまとめて表彰しました。昨日から今日にかけての一日では、なかなか成長は感じられません。しかし、毎日少しずつ成長を積み重ねることによって確かな成長につながります。そして、節目ごとにその成長を確かめることで、自信や誇り、絆が生まれてきます。1学期の終わりがその大きな節目です。

これから38日間の夏休みが始まります。夏休みは、一人一人の個人に成長が委ねられる時です。8月28日に、また一段と成長した子ども達に再会できることを楽しみにしています。



## 土岐小「家庭学習・読書がんばり週間」の取り組み結果について

先日行いました「家庭学習・読書がんばり週間」の取り組みに、ご協力いただきありがとうございます。取り組み状況を3ページ目からにまとめましたので、ご覧ください。